

おおづまち議会だより OZU

2024
107号

今月の定例会は

12月	3月
9月	6月



志は高く、ハードルは低く

第2回 選挙にはどのくらい
お金がかかる?

来年初めに予定されている大津町議会議員選挙を前回のように無投票にしないよう、少しでも多くの方に“その気になってもらう”ため掲載する本コラム。

第2回目は誰もが関心をもつと思われる「選挙にはどのくらいお金がかかる?」を取り上げます。(なお、内容は大津町議会議員選挙の規模・事例を想定したものです。)



ホームページでは
実際の数字で詳しく
説明しています。

[立候補準備費用と選挙費用]

「選挙活動の費用」は、実際に立候補して選挙運動を行う費用です。(図①黄色の部分)

選挙活動のやり方は候補者により様々で、一概には言えませんが、一般に図②のような支出が考えられます。

[使える額には上限がある]

選挙活動の費用には上限があり、大津町の場合、概ね 280 ~ 290 万円です。「えっ、そんなに!」と思われるかもしれません、これはあくまで上限額でこれ以上使ってはいけない額です。

[一部は公費で負担する]

前回選挙からは費用の一部を公費で負担することができるようになりました。

対象となるのは図②で赤文字で示したもので、それぞれに単価・上限が定められています。最大額は約 55 万円です。

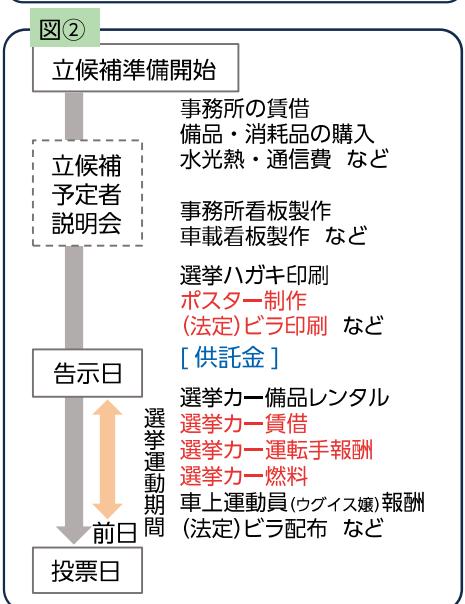
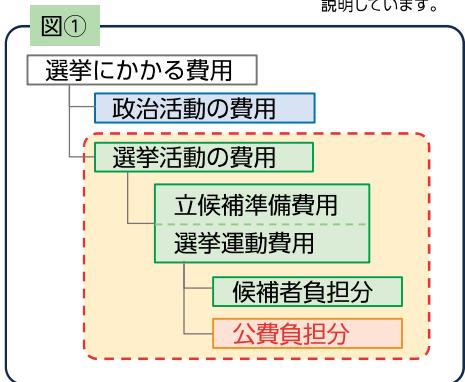
[供託金は 15 万円]

反対に、供託金が必要となりました。立候補する際に法務局に一時的に預けるお金です。これには、公費負担をあてにした安易な立候補が乱立することを抑制する効果があります。

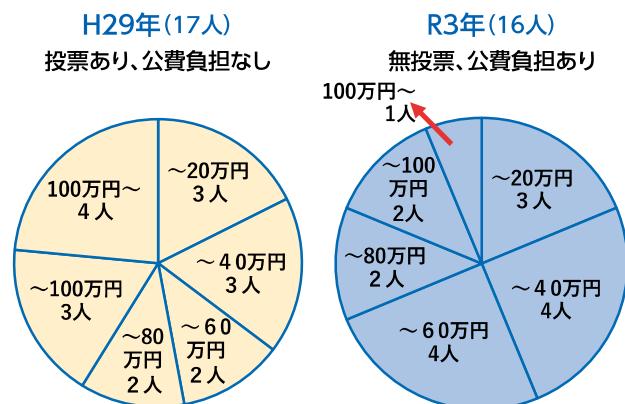
供託金は一定の得票数があれば戻ってきます。町の有権者数を 2 万 8 千人、投票率を仮に 60% とすると、この数は 105 となります。

[実際、どのくらいかかる?] (概算、千円以下四捨五入)

H29 と R3 の過去 2 回の選挙運動収支報告書の報告をもとに、実際にどのくらいの費用がかかっていたかみてみます。



選挙運動の支出額



H29 年の支出額を見ると、半数以上が 80 万円以内です。もし公費負担があれば最大額は 70 万円程になっていたと思われます。

R3 年の支出は選挙期間が 1 日だったことからさらに低く抑えられています。公費負担を除く、候補者負担は平均で 28 万円弱になります。

確かに、選挙にはそれなりの費用はかかりますが、費用を節減しても成果は得られることをご理解いただけたでしょうか。

今後、ネット選挙運動が広がればさらに経費の節減も可能になるでしょう。

今後の掲載予定 第3回 立候補の手続きは大変? 第4回 選挙運動ってどうやるの?

新部長 紹介

4月の人事異動で
新しく部長になられたお二人です。



健康福祉部長
おおくま すみよ
大隈 寿美代

健康福祉部では、「笑顔でつなぐ 元気で健やかなまち」の方針のもと、いつまでも健康で、楽しく、安心して暮らせる地域を目指して、福祉や健康に関する支援を行っています。住民の皆さんにとって、分かりやすいサービス提供や支援に努めます。



産業振興部長
しらいし ひろのり
白石 浩範

農工商併進のまちづくりを基本に、各産業分野の振興と活性化を図り、町全体の経済の発展を目指します。また、お祭りやイベントを通して、町民の皆さんと一緒に元気で賑わいのあるまちづくりを推進していきます。

議会活性化特別委員会 意見交換会

議員定数と報酬について 区長会執行部との意見交換



令和6年4月11日に議会活性化特別委員会と区長会執行部との意見交流会を行いました。まず、山本委員長が趣旨を説明し、佐藤副委員長が「大津町議会の議員定数について」を説明しました。

区長会からは「議員の立候補者を増やしたいのか、報酬を増やしたいのか」「報酬を増やしても立候補しようとは思えない。何人必要なのかが根底になると思う」「区長と議会との関係性は強い。議会活性化を望む」「オーバスの場を議会カフェにしてはどうか」「議会の仕事量はどれくらいなのか。仕事が増えれば報酬も増えるべきだと思う」「選挙が一度無投票だったから定数削減というのは早急すぎるのではないか」「無投票は議員の責任だけではなく、住民の意識の問題」「投票所でじろじろ見られながらの投票が嫌で不在者投票に行く人もいる。ジャスコの投票所は良かったなど、他にも沢山のご意見をいただきました。いたゞいたご意見を委員会に反映していきます。

区長会執行部との意見交流会を行いました。まず、山本委員長が趣旨を説明し、佐藤副委員長が「大津町議会の議員定数について」を説明しました。

区長会からは「議員の立候補者を増やしたいのか、報酬を増やしたいのか」「報酬を増やしても立候補しようとは思えない。何人必要なのかが根底になると思う」「区長と議会との関係性は強い。議会活性化を望む」「オーバスの場を議会カフェにしてはどうか」「議会の仕事量はどれくらいなのか。仕事が増えれば報酬も増えるべきだと思う」「選挙が一度無投票だったから定数削減というのは早急すぎるのではないか」「無投票は議員の責任だけではなく、住民の意識の問題」「投票所でじろじろ見られながらの投票が嫌で不在者投票に行く人もいる。ジャスコの投票所は良かったなど、他にも沢山のご意見をいただきました。いたゞいたご意見を委員会に反映していきます。

誰もが住みたくなるまちへ

2024年度予算が成立しました

一般会計予算 **185億8492万円**



3月定例会議

会期期間19日間
3月1日～3月19日

いくつかを町の皆さんとの声と共にお知らせします

3月定例会の議案等は
予算……………17件
条例について………27件
人事…………… 2件
その他…………… 1件

一 予 算 一

護川小学校校区学童保育施設立替え整備費 **1億4,412万円**



くわはら み ちえ
桑原 美智江さん
(放課後児童支援員)



寒くて暑い老朽化した
プレハブ教室をお借りしての保育でしたので、子
どもたちも新施設を樂
しみにしています。
保護者の方が安心して預けられるよう、子
どもの成長の手助けにな
れるように頑張ります。

高齢者運転免許証 自主返納支援

513万円



なか の せつ お
中野 節生さん
(内牧区)

父が80歳を過ぎた頃から車の運転を心配していました。ある日、運転中に恐ろしい体験をした様で自分から「もう運転はしない」と言い、運転をやめました。その後は家族が父母を病院や買い物に乗せて行っています。正直、面倒ですが、他人様への迷惑をかけるのではという心配はなくなりました。

一 条 例 一

手話言語条例



まるやま のりこ
丸山 典子さん
(手話通訳者)

手話言語条例制定に
向けて尽力頂きました皆
様に感謝申し上げます。
聴覚障がい者、私たち
手話通訳に関わる者とし
ても本当に喜ばしいこと
です。

今年2月に亡くなられ
ました県ろう者福祉協会
の松永理事長の想いを
受継ぎ熊本一の手話言
語条例を進めて参りま
す。



ひらやま けんじ
平山 健二さん
(手話講座講師)

手話言語条例制定あ
りがとうございました。
私たち聴覚障がい者に
とりまして、大変喜ばし
くこの大津町に住んで良
かったです。

楽しく学べる手話講座
も2回目が終了し、沢山
の方々が手話に興味を
持て頂き感謝します。

これから聴覚障がい
者への理解も深まること
を期待しています。

議員の賛否を公開します

上程された議案・概要	桐原 則雄	荒木 俊彦	津田 桂伸	永田 和彦	坂本 典光	大塚龍一郎	佐藤 真二	豊瀬 和久	山本富二夫	山部 良二	三宮 美香	大塚 益雄	西川 秀貢	時松 智弘	田代 元気	大村裕一郎	賛成 (○)	反対 (●)
大津町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	-	●	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	●	●	○	○	10	5
大津町下水道事業基金条例の一部を改正する条例	-	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	14	1
大津町介護保険条例の一部を改正する条例	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
令和6年度大津町一般会計予算	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
令和6年度大津町国民健康保険特別会計予算	-	●	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	12	3
令和6年度大津町介護保険特別会計予算	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
令和6年度大津町後期高齢者医療特別会計予算	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1

*議長は議事進行を行なうため賛否表明はしません。賛否の分かれた議案のみ掲載しています。

■賛否表 ○は(賛成) ●は(反対) 番は(棄権) 欠は(欠席)

その他の議案については議会ホームページをご覧ください。

大津町議会

検索

本会議動画配信



議員の視点

(本会議での質疑の一部を抜粋して掲載しています)



時松
智弘
議員

問 介護保険の準備基金の考え方すべての1号被保険者の負担軽減のため、と説明があったが保険料負担を求める時は高齢者であっても高収入ならば応能負担を求め、低所得者は町独自の考え方で負担を軽減するというは矛盾がないか。

答 国からの公費負担と所得に応じた保険料でまかうというところについては国の介護保険の計画に沿ったものだ。今後進展する被保険者の高齢化の中どのように負担を求めるかは課題と捉えている。



豊瀬
和久
議員

問 高齢者運転免許証自主返納支援事業の対象者を交通手段の支援をする人としない人に区別をする根拠は。

答 近隣の自治体に合わせた形で5年さかのぼるという制度設計をしている。



山本富二夫
議員

問 バス運行費補助についてバスの本数が少ないことと、朝の時間帯にもう少し本数を増やすべし利用が増えるのではないか。

答 赤字路線であっても町民の交通手段として維持している。バスが不便なところは乗り合いタクシーを利便性の高いものにして交通手段を確保していく。



田代
元氣
議員

問 庁舎駐車場の新紙幣対応ユニットは高額紙幣にも対応可能か。また、利便性向上の観点から、キャッシュレスも対応するべきではないか。

答 現在、千円札しか使えない状況である。新年度においても同じような運用を考えているが、今後はキャッシュレス決済なども検討していく。



三宮
美香
議員

問 肥後大津駅ビジターセンターのテレビ画像に阿蘇や他地域の映像が流れているが、大津町の観光をPRすべきではないか。

答 令和6年度に観光PRビデオ作成予定。合わせてビジターセンターのPRも行いたい。



荒木
俊彦
議員

問 大雨が降ると、排水路があふれて、宅地のほうに水が流れ込んでくる実態がある。雨水の安全対策は地方自治体の責任だが対策が全くなされていないのではないか。

答 高尾野の排水路についてはここ数年予算化していないので、今後、現状を把握して予算化し対応が必要な部分があれば対策をしていきたい。



山部
良一
議員

問 インクルーシブ遊具の設置については、いろいろな特性がある子どもたちが3種類の遊具で遊べるのか、もう少し増設する必要があるのではないか。

答 3種類程度の遊具を設置する予定なので、いろんな形で遊べると思っている。また、今後も増やしていくければと考えている。



佐藤
真二
議員

問 「かんしょ安定生産対策事業補助金」で農家を台湾研修に送ることだが、本来の補助金の目的とは全く異なる。

答 補助金交付要綱を見直す。



永田
和彦
議員

問 予算の配分の中に、厳しい財政計画を見直していくような配慮がなされているのか。

答 振興総合計画に基づき事業調整して、全体的な財政計画を示していきたい。

ちょうみん りかい え ていねい せつめい 町民の理解を得られる丁寧な説明を

A 入札結果公表について以前は『広報おおづ』に毎月掲載されていたが、現在は二次元バーコードでホームページに誘導している。適正な公表のやり方なのか。

A 入札結果を『広報おおづ』だけで公表する場合、発行まで一ヶ月遅れて公表していることになる。

入札結果は遅滞なく公表することが必要で、ホームページでの公表は入札当日に結果が確認でき、内容も充実しているため、適正な公表と考えている。

公共事業の入札結果の公表方法について



HPを最大限活用し迅速な情報提供

雨水浸透ますの仕組み
(くまもと地下水財団 HPより)

熊本地下水財団には増額要求を提案したが難しいため広報に力を入れた。具体的には開発事前協議の際に広報・周知を行い、前年度には申請が無かつたが令和5年度は件数が伸びており、今後もしっかり取り組む。

A 補助金の上積みを行っている他自治体の状況は承知している。

地下水かん養のために町が出来る取り組みは

A アナログの必要性を考えながら、不正の温床となるような無秩序なデジタル化となり込んでいきたい。

Q デジタル社会の中でもアナログ検査の強化を

A デジタル社会構築は重要なとはいえ、現場に赴き確認する事は必要。



アナログの力での現場確認が重要

総務委員会レポート

こくみんけんこう ほけんぜい ぞうせい 国民健康保険税の増税

今なぜ増税なのか
町民に対する説明は

	令和5年度	R5標準 保険税率	令和6年度
所得割 (%)	医療給付費	8.0	8.5
	後期高齢者支援金分	2.5	3.09
	介護納付金分	1.7	2.86
	合計	12.2	14.2
均等割 (円)	医療給付費	27,100	30,151
	後期高齢者支援金分	7,000	10,509
	介護納付金分	9,100	18,677
	合計	43,200	59,337
平等割 (円)	医療給付費	25,000	20,771
	後期高齢者支援金分	6,500	7,240
	介護納付金分	6,400	0
	合計	37,900	28,011

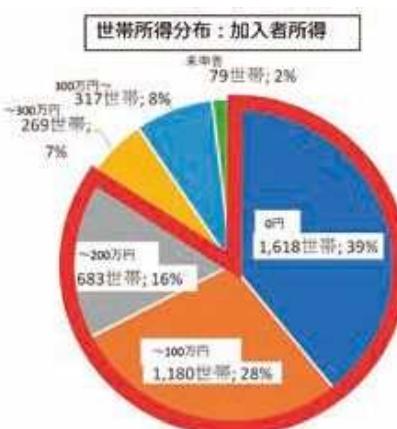
今回改定された税率

A 増税によって負担を町民に求めていく一方で令和10年度にはかなりの増税額であることが示されている。様々なものが値上がりする中で、影響が大きいのは国民健康保険税ではないか。赤字解消を含め、分かりやすく説明を。

Q 増税によって負担を町民に求めていく一方で令和10年度にはかなりの増税額であることが示されている。様々なものが値上がりする中で、影響が大きいのは国民健康保険税ではないか。赤字解消を含め、分かりやすく説明を。

A 滞納繰越しは、令和4年度で約1億3千7百万円、うち現年度が約3千5百万円。滞納者の所得別分布は加入者の所得分布と比例している。が、世帯人数が多く税額が高い場合や、修正申告での遅延等で一括で支払えない場合などがある。

Q 国民健康保険税の滞納状況はどうなっているのか。
A 税を納められない人は所得別でいえばどのような人たちか。



2人世帯 夫：73歳 年金所得 50万円 妻：70歳 年金所得 10万円			
	税額/年	現行との差額	軽減
現行	57,200円	—	5割
改正案	62,400円	5,200円	5割

4人世帯 夫：45歳 農業所得 300万円 妻：40歳 宮集所得 50万円 子：10歳 子：5歳			
	税額/年	現行との差額	軽減
現行	497,400円	—	なし
改正案	582,600円	85,200円	なし

世帯所得別の比較表(例)

A 令和12年度の県内保険税の負担が生じているため、増税はやむを得ないと考えている。統一に向けて医療費抑制などの取り組みを行い、国や県にも要望を行う。

Q 番議の資料では今回の増税によりかなりの負担額となる世帯もある。税負担を増やすこと 자체が想像できない。所得300万以上の世帯の負担感があまりに大きいと感じます。

増税が子育て世代に重すぎないか

町内企業の人才確保について



企業ガイダンス

Q 人材確保のため、企業も生き残りをかけて頑張っていると聞いているが、町内企業における採用の取組状況は分かるか。

A 企業連絡協議会で、企業紹介や地元で働くメリットなどの紹介を行う企業ガイダンスや県内の高校などの就職担当の先生と企業の採用担当者との情報交換会、実際の仕事内容などを見てもらう工場見学会を行い、今年度は、企業も20社参加し、約120名の生徒が見学する予定となつている。

A 熊本県の取組みで、一定の要件を満たし県内企業に就職した場合に、奨学金の返還を支援する制度が設けられている。本町には働く場所となる企業が多く立地し、IT企業などの誘致にも力を入れて発信しながら、引き続き取り組む。

人材を育てるための取り組みは



工場見学

Q 大津高校を卒業し、どのくらい町内企業に就職しているのか。大津町の企業に対して、行政としてもしっかりと応援していかなくてはならないが、どう考えているか。

A 大津高校では、ほとんどの生徒が進学されると伺っている。また、翔陽高校では、就職した生徒の約8割が県内に就職している。町内企業に就職してもらえるよう、企業連絡協議会や県と様々な業種の魅力や多様な働き方があることを発信しながら取り組む。



学校との情報交換会

町内企業の魅力発信について

経済建設 委員会 レポート



肥後大津駅周辺

のう こう しょう へい しん 農工商併進の

商店街との連携について

Q 商店街助成事業については、肥後大津駅周辺整備との連携が取れているのか。

A 町内4つの商店街と会議をし、商店街が暗いので明るくしたい、休憩のためのベンチの設置や道路の整備、竹灯りイベントなどの話があつた。肥後大津駅周辺整備とも情報を共有していく。

意見

現場の声を自由闇達にあげてもらうことが重要。そこに見えない可能性が埋もれていて、発掘しなければならない。町は門戸を広げて、聞く耳をきちんと持つてほしい。

町有林について

A 今までは一般会計の町有林施業委託の中に特別会計分を含め、繰入を行いながら括施業をしていたが、施業内容の違いから委託方法を分け欲しいという保護委員からの意見もあつたので、一般会計と特別会計それぞれの会計で施業委託を行うよう予算計上をしている。



町有林

農地の減少について

Q 多面的機能支払交付金事業において対象農地が減少しているが原因は何か。また、どの程度の面積が減っているのか。

A 減少の原因としては、農地転用関係の増加と圃場整備を行った際の換地関係で交付対象面積が減っている。今回、5年毎の事業更新の中で面積の見直しを行ったところ、約60haの面積が減少している。



国民健康保険税について

A 近隣と比較し国保税率が低かつたために引き上げたのか。今回の引き上げが大きいのはどうなのか。



陣内公民館のスマートロック

Q 財政上の赤字が大きくなつたため、税率等の引き上げとなつた。今回の改定では高所得の方は引き上げが大きいが、低所得者に配慮した引き上げで、年間1千円の引き上げとなつており、低所得者については近隣との大きな差はない。
A 高所得者は何万円も引き上げても良いと思うが、低所得者は1千円でも厳しいと聞いています。

- Q** 緊急時と平常時でどのような運用になるのか。
A 学校、教育委員会でロック可能な番号を共有し対応する。
 また、休日部活動の地域移行に向けて、校舎への設置はどう考えているのか。

スマートロック設備について

国民健康保険税 1人当平均保険税額

1人当平均保険税	改正前	改正後	差額	人員
医療給付費分	70,469 円	74,319 円	-	5,779 人
後期高齢者支援金分	20,755 円	26,326 円		
合計	91,224 円	100,645 円	9,421 円	
介護納付金分	20,650 円	29,452 円	8,802 円	1,816 人

●介護分は、40歳～64歳までの人員

慎重な委員の選任を

- Q** 国保運営協議会の会長を議会議員が務めるのはどうなのか。答申後に条例や予算を審議することになり、対応が難しくならないか。
A 県内の自治体で会長に議会議員が選出されるケースはあると確認しているが、次の改選の際は、他の自治体の動向も確認し検討したい。



町長に答申する協議会会長

文教厚生 委員会 レポート

ちょうみん あんしん 町民が安心できる



必要な方への配慮を

Q 手話通訳者設置の周知方法や、月2回の設置で充分なのか。

また、議会中継でも手話通訳の導入も考えているのか。

A 広報おおづの「まちのカレンダー」に掲載し周知している。回数についても現場の声を聞き、対応していく。

議会中継についても関係部局と協議を重ね検討していく。



虐待の予防、早期発見を

Q 介護人材が不足する中、外国人の雇用も増えているが、町内の状況は。

また、虐待防止のためにどのような取り組みをおこなっているのか。

A 町内でも1施設で2人の外国人が雇用されている。虐待防止について、県の研修について情報提供をおこなつたり、町主催の研修を実施している。また、事業所の運営指導の際に確認、指導をしている。



新園舎建設予定地

大津幼稚園民営化について

Q 新園舎建設について、園舎を通し全体が見える方が安心だと考えるが、構造上仕方はないのか。また、給食費の負担増について保護者負担について意見はないのか。

A 移譲先法人からは敷地の活用や駐車場の確保など専門家と検討し進めている。安全対策についても、しっかりと確認していく。

また、給食については保護者負担は増える。説明会やアンケートをおこなつてているが、現在のところ保護者からの意見は出でていない。

一般質問

町政を問う 3月定例会

一般質問に16人中11人が登壇



Q どう守る農地確保への支援策

A 地域の話し合いにより農地利用を明確化する

やまもと ふじお
山本 富二夫議員



Q 蒲島県知事は3月12日に空港アクセス鉄道について、農地減少は避ける路線の検討などを求め意見を提出された。一方で、町は護川地区の優良農地に工業団地の造成を計画しており、畜産農家やかかるも農家から農地が工場用地に転用されれば、農業ができないと言われている。

現に瀬田地区など町の農家は、地下水保全のために、地下水湛水事業に取り組んでいる。TSMCは国策事業であるため、国や県は責任を持って、代替地の確保を目指すこと。地域住民の意見をしっかりと伝えるべきだ。

A 地域住民との協議の場を設け農家の意向を把握しながら、関係機関や専門家と連携し、取り組んでいく。また、地権者が代替地を求めておられる場合は、相談に乗りながら、代替用地の確保に努めている。（町長）

工業団地予定地内で要望されている。現在、當農している人は、農業を続けるため、代替地を要望されている。現在、代替地の地権者と用地交渉を進めている。引き続収集など、国や県などと意思疎通を図り、協力を得ながら進めていく。

（産業振興部長）

その他の質問

- 東海大学熊本臨空キャンパスとの取り組みをすべきだ。
- 選挙公約 新しい大津をつくる101の具体策の達成度について

Q 災害時支援用バンダナを作成すべき

A 支援に役立つツールの活用を進めていく



災害時支援用バンダナ

とよせ
豊瀬
かずひさ
和久議員



Q 障がいがある方に対

し災害時でも必要な情報を速やかに届けられるよう、災害時支援用バンダナを作成するべきだ。

普段からカバンなどに入れて置くことで避難所や、急に具合が悪くなつて周囲に助けを求める時に迅速な支援にならげることができる。

A 災害時支援用バンダナは、情報取得のサポートや円滑なコミュニケーションにつなげるためのツールであり、有効な手段の一つである。

今後、障がいのある方や運営に携わった方などのご意見を伺い、災害時及び日常生活の支援に役立つツールの活用について取組を進めていく。

(町長)

Q 生活道路対策「ゾーン30プラス」導入を

A 合意形成を図り整備計画を策定していきたい



国土交通省「ゾーン30プラス」を導入し物理的デバイスで安心安全な道を

ときまつ
時松
ともひろ
智弘議員



Q 美咲野地区で導入されているゾーン30対策だけでは、生活道路への通り抜けが増加をして大変

議会で地域住民から声が上がっている。国土交通省が提唱する物理的デバイスとの適切な組合せにより、交通安全の向上を図るゾーン30全の向上を図るゾーン30プラスを出来ないか。例えば護川小学校周辺も開発が今後進む。ゾーン30プラスの導入が必要な地区が増えていく。調査と要望に沿い、ほかの地区でも協議をして導入する考えはないか。

A 昨今の人口流入や近隣開発が盛んな中、生活道路を抜け道として通行する車両が増加していることに伴い、道路を利用

する児童生徒の危険も増えていると感じている。ゾーン30だけでは、進入抑制や速度抑制としての効果が限定的であるため、主要道路の渋滞を避け、生活道路を通り抜ける車両が増えているような状況だ。

物理的デバイスは速度や抜け道利用を抑制する効果が期待できることから、要望に沿い試行、検討していきたい。(町長)

その他の質問

- ・ごみの減量化・資源化、収集の効率化について
- ・行政手続きのデジタル化とDX推進状況について
- ・通いの場を充実させる取り組みについて
- ・都市計画マスタープランの見直しと空港アクセス鉄道の沿線に駅を設置する考え方について

Q 町営住宅を活用し子育て支援に

A 子育て支援も含め総合的に判断する



やまべ りょうじ
山部 良二議員



Q 今、本町では TSM C 等の進出により、価格の高騰やアパート・賃貸の家賃が高騰し、子育て世帯にとって非常に厳しい現状である。また、今後の少子高齢化対策として、町営住宅の長期空き家を活用し子育て支援のための優先応募枠の設定・収入基準の緩和・抽選倍率の優遇などの政策が必要ではないか。また、スマートウイルネス住宅等推進事業（PFI）などを活用し町営住宅の空き住宅を子育て向け住宅に活用することを提案する。



その他の質問

- ・スポーツの森に新駅を
 - ・町道「三吉原北出口線」国道並舗装打ち替え工事を

(町長)

A 空き家率は令和6年2月末の町営住宅全体で15・6%、あけぼの団地では19・7%で、長期空き家率が約15%程度ある。空き部屋については、急速な企業進出などによる住宅不足、家賃の上昇なども踏まえ、今後の方針について分析・検討する。またPFIを活用し、空き住宅を子育て向け住宅に活用する提案については、公営住宅の長寿命計画で集約・建て替えに位置づけているあけぼの団地の整備に取り組む際にはPFI等の民間活用も検討する。

④ 新たな財源でさらなる魅力化を

A 税収増で好循環を生み出したい



たしろ げんき
田代 元氣



本町はビジネスホテルをはじめとする宿泊施設が近隣自治体と比較し、圧倒的に多く、現在も数施設が建設中で、さらに立地されるという話も聞こえてくる状況である。

そんな中、宿泊税の導入を検討する熊本市では、有識者による検討会議で、観光振興の独自財源の確保として導入は妥当と答申するようである。

例えば、運動公園陸上競技場を全天候型に改良し、さらなる魅力力を図ることで、スポーツ合宿の誘致に繋がり、観光振興にも寄与すると考えるが、本町でも宿泊税を導入する考えはないか。



町内の宿泊施設

その他の質問

- ・スポーツ、文化界で活躍される方への支援のあり方について
 - ・学校給食について

町長

A 本町には、現在11施設974の客室があり、令和5年度は30万人を超える方々が宿泊している。さらに、3施設が建設され、または建設予定で、近隣自治体と比較し、宿泊施設がさらに増加する見込みである。

宿泊税の導入は、宿泊者や事業者にも影響があるため、課題の抽出のほか、外部の検討委員会を立てて宿泊税の妥当性、用途、事務負担などを議論し、検討を深めていきたい。その上で、宿泊税を利用し、町の観光振興や受け入れ環境の整備をし、宿泊者の増加、事業者の収入増と税収増を図り、好循環を生み出すことができないか考えていく。

Q TSMC進出に伴うインフラ整備について

A 今後も実現に向け関係機関と協議を進める

おおつか ますお
大塚 益雄議員



大津町人権啓発福祉センター
北側交差点の様子

その他の質問

- ・生涯学習センター文化ホール事業について

Q TSMC等進出に伴い大津町人権啓発福祉センター北側交差点を通る車両は、年々増加し菊池方面からの抜け道となつていて。交差点西側は通学路であるが、狭いため識別表示が必要ではないか。

A 道路の識別表示については、大津町人権啓発福祉センターの北側交差点から西側に向け、舗装の打ち替え工事を新年度計画しているため、併せて外側線の外側を青色でペイントし、歩行者を認識させる路面標示を行っていきたい。また、国道325号線から樂善交差点まで約1キロメートルの区間にについて、4車線化し、併せて樂善食堂付近の交差点改良と交差点付近の排水改善も行っていく。(都市整備部長)

Q 熊本県がインフラ整備として試算している1140億円のうち、大津町に関するものはどれだけあるのか、空港アクセス鉄道について方向性は出ているが見通しはあるのか。

A 熊本県のインフラ整備の中で道路に関する予算是、300億円を見込んでおり、中九州横断道路インターチェンジの増設や接続道路の整備、県道4車線化、主要交差点の立体交差化などが検

討されている。町道三吉原北出口線は、国道325号線から樂善交差点まで4車線化を計画。空港アクセス鉄道は、令和9年度から着手、令和16年度末に開業を予定している。(町長)

Q お酒の飲みすぎを自制する

A 不祥事根絶宣言書を提出している

さかもと のりみつ
坂本 典光議員



その他の質問

- ・人工芝サッカー場の今後の改修資金
- ・流れが止まった真木の川の状況

Q この度厚生労働省は飲酒に伴うリスクを周知し、健康被害を防ぐためガイドラインを発表した。一日当たりのアルコール限度量を示すと同時に避けるべきこととして不安、不眠を解消するために飲むことと、他人に強要することをあげている。

A 教職員は倫理観や豊かな人間性が求められる。教育委員会としては年度当初に、通知文を出して、全職員に不祥事防止に向けた取り組みを求めている。教職員一人ひとりが不祥事根絶宣言書を作成して校長に提出している。この中には飲酒運転防止も入っている。

公務員が酒気帯び運転で事故を起こして懲戒免職になったニュースが時々流れる。お酒の飲みすぎは自分も周りも不幸にする。セクハラにもつながりかねない。飲みすぎを自制するよう広くPRるべきである。

A 町健康づくり推進計画において飲酒に関する事項を掲載している。引き続き情報提供していく。(教育長)

A 教職員は倫理観や豊かな人間性が求められる。

Q 矢護川公園の管理は

A 必要に応じて予算化を検討していく



おおむら ゆういちろう
大村 裕一郎議員



その他の質問

・町内の農地減少について

矢護川公園は町内において水も豊かで自然も豊富な公園で休日にもなると家族連れも多数見られる町内において代表格となる公園である。

地元からの要望もあり平成14年に供用開始され今年で22年目を迎える。その間、地元と町との初期の申し合わせもあり除草等の管理は地元が請け負ってきたが、矢護川の高齢化率も高くなつており今後さらに高齢化が進むのではないかと考えられ、作業にかかる負担は非常に重くなつてきている。

さらに、地元より管理を町で請け負つてもらえないかという要望も出しており事は急を要する状況となつている。

こうした状況を踏まえ、町で管理を請け負う考えはないか町長の考え方を問う。

A 平成14年度にオープンした当時、地元が管理することを謳った協定書を交わし、電気料金や水道料金等は町が、樹木や芝等の剪定やトイレの清掃等については地元が役割分担をすることで、この公園を核とした矢護川地区の活性化のために地域一丸となつて取り組みこれまで適正に管理されてきたと認識している。

(町長)

Q 財政計画のない事業乱立は危ない

A 事業調整を行い、計画を示す



さとう しんじ
佐藤 真二議員

	事業	進行状況
変化に伴う新たな課題	空港アクセス鉄道中間駅	確定ではないが必要不可欠
	工業団地整備、周辺対策	進行中、代替農地が課題
	排水路	R5予備設計発注
	杉木水迫線	(北へ延長)
	肥後大津駅周辺整備	基本計画策定着手
	バス転回広場	早期完成を目指す
投資未来への	三吉原北出口線多車線化等	一部県事業で実施
	総合体育館エアコン導入	R6設計
	町立認定こども園	
	子育て支援拠点施設	R6基本構想着手
い積み残された課題	インクルーシブ遊具	R6から順次
	大津中大規模改修	進行中
	護川小屋根改修	進行中
	大津外壁・屋根改修 他	R6実施設計
	南小建替え	検討を進める

施政方針のハード・インフラ整備項目

その他の質問

- ・職員の早い退職への対策と配置の偏りの是正、専門化について
 - ・子育て支援の拠点施設の整備方針

A 町の急激な変化に伴う行政需要が高まり、財政は厳しい状況。本来であれば、この状況を財政計画として示し、町財政の持続可能性を示すべきだが、変化に対応するための事業の洗い出し、整理を行つてゐる状況。

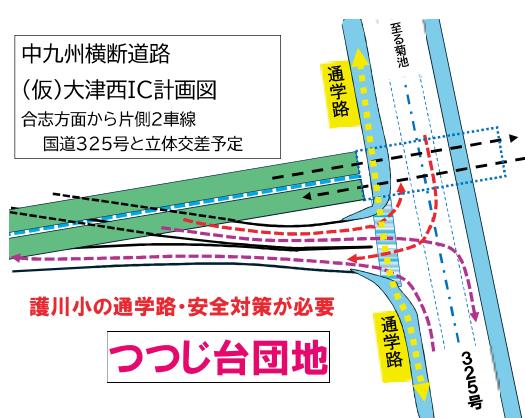
民間資本の活用や、町債の償還年数の見直し、受益者負担の観点から負担金や使用料の見直しをはじめ、あらゆる收支の在り方の見直しを図る。事業全体の優先順位の整理や、予算査定でのシリングも検討し、町財政の持続可能性を示せる財政計画を整理していきた

(町長)

Q 護川小学校通学路・大津西インターとの交差点の安全対策を

A 信号あっても、下校の際は心配 保護者、地元とも協議する

中九州横断道路
(仮)大津西IC計画図
合志方面から片側2車線
国道325号と立体交差予定



護川小の通学路・安全対策が必要

つつじ台団地

その他の質問

- 空港アクセス鉄道・中間駅の妥当性。町民の要望はアクセス道路ではないか。

あらき としひこ
荒木 俊彦議員



Q TSMC企業進出で雇用の拡大、賃金上昇など期待される一方で、地下水の減少、交通渋滞など、迷惑や被害を受ける人がたくさんいる。中九州横断道路の計画で国道325号との交差点は「護川小学校の通学路」と交差する。特に下校時の児童の交差点通過は非常に危険。歩道橋の設置など対策が必要ではないか。通学路の安全確保について、学校や保護者、地元自治会に説明や話し合いが必要ではないか。

A 現在この通学路を45人の児童が通学。集団登校時は見守りなどで安全性は確保できるかと思うが、下校の場合は心配。保護者、地元住民へも計画と安全対策の説明をしていただきよう都市整備部を通じて要望したい。(教育長)

現在この通学路を45人の児童が通学。集団登校時は見守りなどで安全性は確保できるかと思うが、下校の場合は心配。保護者、地元住民へも計画と安全対策の説明をしていただきよう都市整備部を通じて要望したい。(教育長)

Q 清正公道公園埋め立て部分の整備を

A 緊急の補修はせず安全を確保し地元と協議する

さんのみや みか
三宮 美香議員



清正公道公園西側の陥没状況

その他の質問

- 冠水対策の総合的な雨水管理計画が必要ではないか

Q 地震後に埋め立てられた清正公道公園西側は現在、広範囲で数か所の陥没があり危険である。スクールバスが通る通学路にも面しているが境界部は軟弱地のため、多くの部分で路肩破損している。清正公道公園は町民の憩いの場であるとともに観光客にとっても魅力的な場所にするために景観と安全性を両立した整備が求められる。以前、同僚議員が質問された時、土地の所有者である国や地元関係者と協議しながら頑張りたいと答弁されている。協議はされていたのか。

A 道路や排水対策などの実施で安全対策を図ることが重要だが、限られることは予算で優先順位をつけながらすすめる必要がある。今回の清正公道公園の埋め立てた部分を整備するには数億円かかると予測され、中長期的には方向性を考えなくてはならないが、現状、今できることとして、ロープなどで安全を確保したい。地元とは協議を進めた。(町長)

A 昨年度実施の健全度調査では「緊急な補修の必要性はないが定期的な観察が必要」という評価であった。陥没があり危険である旨の看板や立ち入り制限などで安全性の確保に努める。国と相談し地元とも協議していく。(都市整備部長)

施政方針について 勤労の義務と教育基本法について

ながた かずひこ
永田 和彦議員



論点

- 時代が大きく変化する中、単年度の施政方針の中にも未来を描いた大局的視点のグランジデザインを示すべきである。
- 町にインベーションを起こすが如く首長になられたが何も変わらない。町民が期待し、求めたモノが何であったか理解できているか。

論点

- 多くの人は教育を受け労働して人生を送る。人手不足の要因の中で高齢化や人口減少のみならず職務適応能力「求めるスペックの人材が労働市場にいない・極端に少ない」が挙げられる。教育長が持つべき理念は教育基本法である。

※ 録画配信をご覧ください！



日本国憲法及び教育基本法の理解は必須

熊本県町村議會議長表彰

「町村議會議員に30年以上在籍し特に功労のあった者」として、荒木俊彦議員と津田桂伸議員が表彰を受けました。



荒木俊彦 議員



津田桂伸 議員

議員研修誌「地方議会人」に掲載されました。

全国の地方議会議員向けに情報を掲載されている議員専門研修誌「地方議会人」2月号に広報編集特別委員会の取り組みが載りました。

「議会だより」に対する尚絅大学との連携協定から始まり、大学生・高校生・有志団体との意見交換とその内容が「連携の模範議会」ではないかとの評価をいただきまして。約3ページに渡り取組を掲載しています。書店では販売されていません。議会図書館にありますので、興味関心のある人は議会事務局へお問合せください。

今後も「議会だより」に対する意見交換会を継続し、たくさんの人とつながり、興味関心を持つてもらえる議会だよりを目指します。



○議会への提言・疑問・質問などをお寄せください。

○今回の議会だよりで関心のある記事や感想があればお書きください。また、もっと読みたくなるような「アイディア」があればお寄せください。

次回定例会は

6月5日(水)開催予定

(日程は変更になる場合があります)

日程 6月5日(水)～13日(木)(予定)

会場 庁舎 4階 議場

議会広報編集特別委員会

編集:(委員長)三宮 美香/(副委員長)豊瀬 和久
(委員)時松 智弘/田代 元気/大村 裕一郎
発行責任者:(議長)桐原 則雄

● ● ● ● ● 編 集 後 記 ● ● ● ● ●

▼能登の震災から始まった令和6年、災害派遣の自衛隊や日本各地からの支援が報道された。町議会からも寄付させて頂いている。▼熊本地震の経験から復興を思う時つらく苦しい時でも人間は困難に立ち向かい乗り越える力を持つと確信する。人はそれを「希望」と呼ぶ。▼半導体産業進出の菊池郡市、高景気に沸き、喜ぶ人もあれば物価高騰や家賃上昇に苦しむ人も。▼暮らしに寄り添い地に足をつけた議論の質を問われる議会と行政の姿。令和6年の「希望」を本紙が示せるかもまた問われている。

時松智弘

議会を観ての生の声

3月定例会の傍聴者数のべ34人、ライブ配信再生回数933回 録画配信再生回数136回(4/24時点)

議員の活発な討論に町に対する熱心さを感じた

3月19日、私は初めて「各常任委員会の審査報告についての質疑、討論、評決」を傍聴しました。特に関心があったのは、国民健康保険税の増加の議案でした。委員会の報告では否決された議案に対して、賛成、反対の意見が活発に述べられました。初めて傍聴する私はとても新鮮であり、町の各条例などがこの議会で討論され採決されていく様を見て、各議員の熱心さに感動していましたかもしれません。賛成意見にも反対意見にも頷いている私がいました。見渡すと女性議員は一人、「住み良い町づくりにもっと女性議員が増えるといいなあ」とも思いました。これからは録画映像なども見て、もっと議会を身近に感じていきたいと愚います。



にしおか ともこ
西岡 智子さん
(室)

町民が幸せを感じる大津町を つくるために興味を持ちましょう



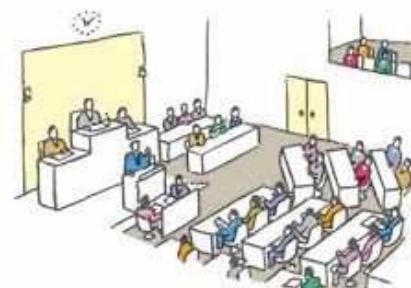
あかほし あきら
赤星 彰さん
居島郵便局長

この度、初めて議会のライブ配信を拝見させて頂きました。画面越しでしたが議会の熱意が伝わってきました。

議会の内容です
が、TSMC等半導体

企業の進出による激変に対し町としてどのように対応していくか熱心な質疑応答がなされていました。私も全国放送で大津町が取り上げられるとワクワクして見ていましたが反面、深刻な交通渋滞、土地問題、家賃高騰等、私たちの生活に直結する難題が山積である事にも気付かされました。町民が幸せを感じる大津町をつくるためにも町の計画等にも興味を持つ事が大切であると実感しました。

郵便局としましては少しでも大津町の発展に貢献できればと改めて感じました。これから町づくりを楽しみにしております。



↓ 皆さまの声をお寄せください！

切り取ってお出しください

郵便はがき

8	6	9	-	1	2	9	0
---	---	---	---	---	---	---	---

料金受取人払郵便

大津局
承認
901

差出有効期間
2026年5月14
日まで
(切手を貼らずにお出しください)

(受取人)
大津町大字大津 1233 番地
大津町役場 議会事務局
議会広報編集特別委員会 行

ふりがな
ご氏名

※会員がよりに掲載させていただく際に、イニシャルやハンドネームをご希望される場合はご記入ください。

$$\boxed{} \quad \boxed{} \quad \boxed{} - \boxed{} \quad \boxed{} \quad \boxed{} \quad \boxed{}$$

ご住所

お電話 () - () - ()